

平成 29 年 度

幼稚園教員資格認定試験

教職に関する科目 (I)

注 意 事 項

受験者は、下記注意事項によること。それ以外の注意事項は試験実施大学の指示によること。

1. 試験監督者の「始め。」の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
2. 実施大学名、氏名、受験番号、受験科目を平成 29 年度「幼稚園・小学校教員資格認定試験解答カード」(以下、「解答カード」という。)の指定された欄に必ず記入してください。
3. 受験番号、受験科目をマークしてください。
ただし、受験科目のマークについては、幼稚園の欄にマークしてください。
4. 解答カードの中で特に受験番号、受験科目の欄の記入及びマークを間違えると失格になるので注意してください。
5. 解答は、全て解答カードの解答欄にマークで記入してください。問題冊子に答えを書いても無効です。
6. マークは必ず鉛筆を使用して、枠内にきちんと記入してください。
訂正するときは、消しゴムで完全に消してください。また、解答カードを曲げたり折ったりしてはいけません。
解答カードが汚れた場合や折れてしまった場合は、試験監督者に解答カードの交換を申し出てください。
7. この試験の解答時間は、「始め。」の合図があつてから 60 分です。
8. 試験が終わるまで退室できません。 [マーク例]
9. 試験監督者の「やめ。」の合図があつたら、直ちにやめてください。 (よい例) ●
10. 下書きには問題冊子の余白を使用してください。
11. 試験終了後、問題冊子を必ず持ち帰ってください。 (悪い例) ⊗ ⊗ ⊕ ⊕

問 1 次の文は、ある人物について述べたものである。その人物名として最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

大正・昭和期に、幼児にふさわしい遊戯の創作をめざし、リズムカルな歌曲に動作を振り付けた「律動遊戯」と、童謡などに動作を振り付けた「律動的表情遊戯」を提唱した。

- ア 野口幽香
- イ 新美南吉
- ウ 土川五郎
- エ 赤沢鐘美

問 2 次の文は、ある種類のカリキュラムの説明文である。そのカリキュラム名として最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

教育実践において、教師と子供同士の関わり、子供と子供との関わり、学校風土や、社会的ルールなどの方向付けを、意図せずに生じさせているもの。

- ア 合科カリキュラム
- イ コア・カリキュラム
- ウ 生活カリキュラム
- エ かくれたカリキュラム

問 3 次の文は、ある人物について述べたものである。その人物名として最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

どんな子供でも発達する力を内部にもっているという考えに基づき、幼児期に精神的発達を促すために、日常生活での感覚訓練が特に重要であるとの観点から、独自の教具を開発した。

- ア キルパトリック (Kilpatrick, W. H.)
- イ フレーベル (Fröbel, F. W. A.)
- ウ モンテッソーリ (Montessori, M.)
- エ デューイ (Dewey, J.)

問 4 「幼稚園と保育所の施設の共用化等に関する指針について」(平成 10 年 3 月 10 日文初幼第 476 号児発第 130 号)に示された記述の内容として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 幼稚園と保育所が共用化された施設について必要とされる基準面積は、それぞれ幼稚園設置基準、児童福祉施設最低基準によりクラス数を基に算定するものとする。

イ 幼稚園と保育所が共用化されている施設における職員の数については、幼稚園設置基準により算定するものとする。

ウ 幼稚園と保育所が共用化された施設に備える園具・教具・用具については、幼稚園と保育所がそれぞれに分けて使用するものとする。

エ 幼稚園と保育所が共用化されている施設においては、教育・保育内容に関し、合同で研修を実施するように努める。

問 5 「幼稚園施設整備指針」(平成 28 年 3 月 文部科学省大臣官房文教施設企画部)の「第 4 章 園庭計画 第 2 運動スペース」に示された記述として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ア 運動や遊びの種類、設置する遊具の利用形態等に応じて、必要な面積、形状等を確保できる計画・設計とすることが重要である。

イ 構造及び仕様は、表面が平滑で、適度な弾力性を備え、また、適度の保水性と良好な排水性を確保するように計画し、設計することが重要である。

ウ 必要に応じ、東屋やパーゴラ等、日除けのための施設を適当な通風の得られる位置に設けることも有効である。

エ 屋上での運動については、活動に伴い発生する騒音やボール等の落下などによる周辺地域等への影響があるため、実施しない。

問 6 次の文は、「教育基本法」(平成 18 年 12 月 22 日第 120 号)の条文である。文中の(①)～(③)に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

(教育の機会均等)

第 4 条 すべて国民は、ひとしく、その能力に応じた教育を受ける機会を与えられなければならない。人種、(①)、性別、社会的身分、経済的地位又は門地によって、教育上差別されない。

2 国及び地方公共団体は、障害のある者が、その障害の状態に応じ、十分な教育を受けられるよう、教育上必要な(②)を講じなければならない。

3 国及び地方公共団体は、能力があるにもかかわらず、経済的理由によって(③)が困難な者に対して、奨学の措置を講じなければならない。

	①	②	③
ア	理念	援助	修学
イ	信条	支援	修学
ウ	信条	援助	学修
エ	理念	支援	学修

問 7 次の文は、「幼稚園教育要領」(平成 20 年文部科学省告示第 26 号)[第 1 章 総則 第 1 幼稚園教育の基本]に示された記述である。文中の(①)～(③)に当てはまる語句の組合せとして正しいものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

幼児の発達は、心身の諸側面が相互に関連し合い、(①)な経過をたどって成し遂げられていくものであること、また、幼児の(②)がそれぞれ異なることなどを考慮して、幼児一人一人の(③)に応じ、発達の課題に即した指導を行うようにすること。

	①	②	③
ア	一様	生活経験	活動
イ	多様	教育環境	活動
ウ	多様	生活経験	特性
エ	一様	教育環境	特性

問 8 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」(平成 26 年内閣府, 文部科学省, 厚生労働省告示第 1 号)「第 1 章 総則 第 1 幼保連携型認定こども園における教育及び保育の基本及び目標」
「1 教育及び保育の基本」に示された記述として適切でないものを, 次のア～エの中から一つ選
んで記号で答えなさい。

ア 保育教諭等は, 園児との信頼関係を十分に築き, 園児が自ら安心して環境にかかわりその活
動が豊かに展開されるよう環境を整え, 園児の希望に沿った教育及び保育の環境を提示するよ
うに努めるものとする。

イ 保育教諭等は, 園児の主体的な活動が確保されるよう園児一人一人の行動の理解と予想に基
づき, 計画的に環境を構成しなければならない。

ウ 保育教諭等は, 園児と人やものとのかかわりが重要であることを踏まえ, 物的・空間的環境
を構成しなければならない。

エ 保育教諭等は, 園児一人一人の活動の場面に応じて, 様々な役割を果たし, その活動を豊か
にしなければならない。

問 9 次の文は, 「就学前の子どもに関する教育, 保育等の総合的な提供の推進に関する法律」(平成
18 年 6 月 15 日法律第 77 号)の条文である。文中の(①)～(③)に当てはまる語句の組合
せとして正しいものを, 下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

(目的)

第 1 条 この法律は, 幼児期の教育及び保育が生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なもので
あること並びに我が国における急速な(①)の進行並びに家庭及び地域を取り巻く環境の変
化に伴い小学校就学前の子どもの教育及び保育に対する需要が多様なものとなっていることに
鑑み, 地域における(②)を生かしつつ, 小学校就学前の子どもに対する教育及び保育並び
に(③)の総合的な提供を推進するための措置を講じ, もって地域において子どもが健やか
に育成される環境の整備に資することを目的とする。

	①	②	③
ア	少子化	創意工夫	保護者に対する子育て支援
イ	都市化	創意工夫	地域創生に対する支援
ウ	少子化	人的資源	地域創生に対する支援
エ	都市化	人的資源	保護者に対する子育て支援

問10 発達障害に関して、[A群]と[B群]の用語の組合せとして最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

[A群]

- ① LD ② ADHD ③ ASD

[B群]

- a 自閉症スペクトラム障害 b 愛着障害
c 注意欠陥/多動性障害 d 学習障害

- | | ① | ② | ③ |
|---|---|---|---|
| ア | a | c | d |
| イ | c | b | a |
| ウ | d | c | a |
| エ | a | d | b |

問11 次の文中の に当てはまる語句として最も適切なものを、下のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

ヴィゴツキー(Vygotsky, L. S.)は、子供の知的発達について、自力で問題解決できる水準と、他者からの援助や仲間との協同によって解決可能になる水準の二つに分け、この二つの水準の差の範囲を、 と呼んだ。

- ア 臨界期 イ レディネス ウ 発達段階 エ 最近接発達領域

問12 ピアジェ(Piaget, J.)が論じる思考の発達段階について、発達の順番に並んでいるものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 感覚運動期 → 前操作期 → 具体的操作期 → 形式的操作期
イ 前操作期 → 形式的操作期 → 具体的操作期 → 感覚運動期
ウ 感覚運動期 → 前操作期 → 形式的操作期 → 具体的操作期
エ 前操作期 → 感覚運動期 → 具体的操作期 → 形式的操作期

問13 近年の日本における子育ての状況について最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 6歳未満の子供を持つ男性が家事育児に費やす時間は、欧米の多くの国に比較して短い傾向にある。
- イ 日本の合計特殊出生率は、一貫して低下し続け、平成26年には最低の1.26を記録している。
- ウ 日本の女性の年齢階級別労働力率は、出産・子育て期に低下するM字型から、出産・子育て期にも低下が見られない高原型に変化している。
- エ 男性の育児休業取得率は上昇し、1割を超えるようになっている。

問14 子供が社会の中で自己を形成していく過程について論じた、ミード(Mead, G. H.)の理論の用語として適切でないものを、次のア～エの中から一つ選び記号で答えなさい。

- ア 社会的自我
- イ 同化と調節
- ウ 役割取得
- エ 重要な他者

問15 家族の形態に関する説明として最も適切なものを、次のア～エの中から一つ選んで記号で答えなさい。

- ア 生まれ育った家族を生殖家族、結婚して自らが形成する家族を定位家族という。
- イ 核家族はどの社会においても民族にかかわらず普遍的に存在し、社会の基本単位となる形態である。
- ウ 子供のうち1組の夫婦が親と同居する家族を直系家族という。
- エ 血縁のない複数の核家族が共同生活を送る形態を拡大家族という。